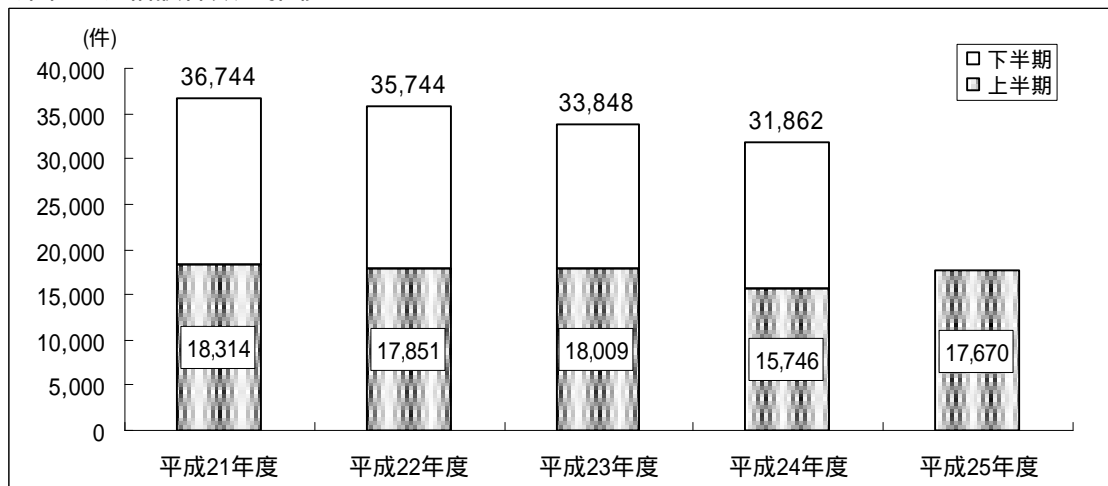


平成 25 年度上半期 消費生活相談 < 速報値 > (東京都消費生活総合センター受付分)

1 相談全体の概要

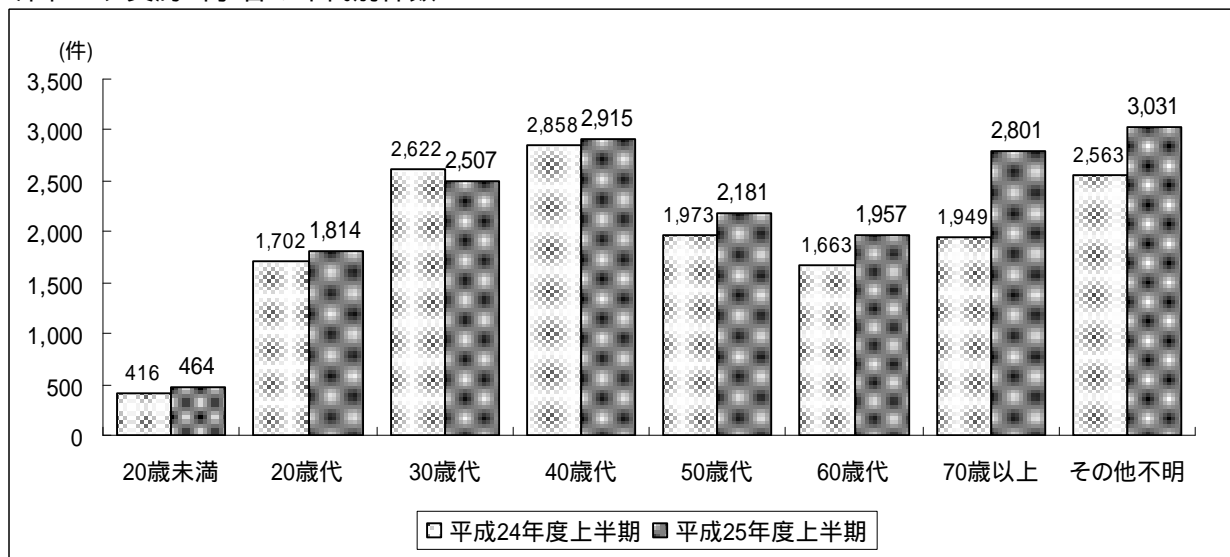
(1) 平成 25 年度上半期(4～9月)に東京都消費生活総合センターに寄せられた相談は 17,670 件であり、前年同期(15,746 件)と比べ 1,924 件(12.2%)の増加となった。

〔図 - 1〕相談件数の推移



(2) 契約当事者の年代を見ると、前年同期と比べ 30 歳代を除く各年代で相談件数が増加している。なかでも 70 歳以上の相談件数の増加が目立っている。

〔図 - 2〕契約当事者の年代別件数

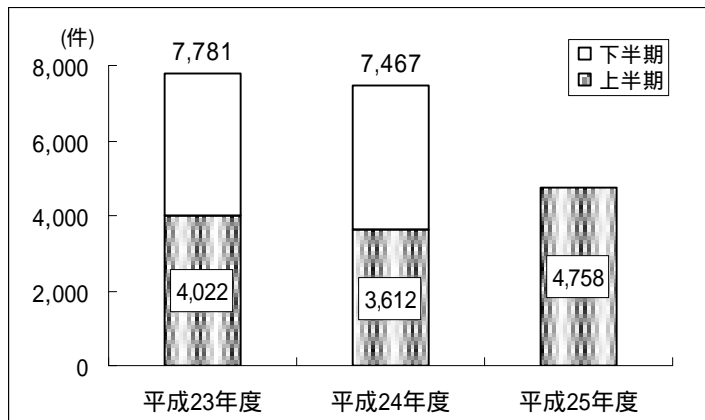


この資料に掲載した平成25年度上半期の件数は、資料作成日時点の速報値である。

2 高齢者の相談 < 契約当事者が60歳以上である相談 >

高齢者の相談件数は4,758件であり、前年同期と比べ1,146件(31.7%)の増加であった。

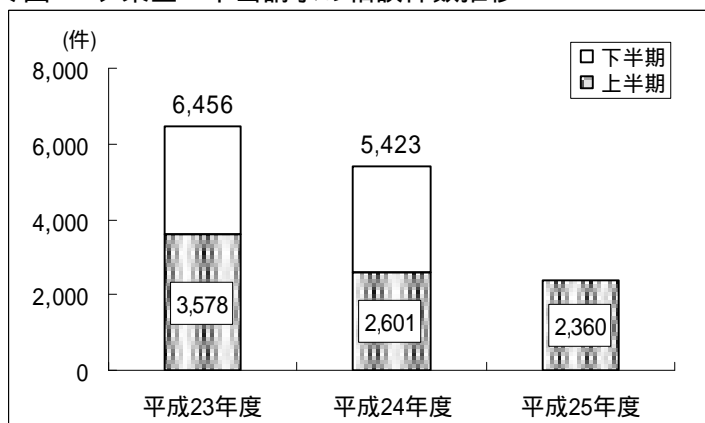
〔図 - 3〕 高齢者の相談件数推移



3 架空・不当請求に関する相談

身に覚えのない代金の請求や不当に高額な請求などの架空・不当請求に関する相談件数は2,360件であり、前年同期と比べ241件(9.3%)の減少であった。

〔図 - 4〕 架空・不当請求の相談件数推移



4 多重債務に関する相談

多重債務に関する相談件数は406件であり、前年同期と比べ17件(4.4%)の増加であった。

〔図 - 5〕 多重債務の相談件数推移

